

第1回一宮市中心市街地活性化基本計画策定委員会

日時 平成19年7月17日 午前9時30分～12時
場所 一宮スポーツ文化センター 2階第1研修室

1. 開会（梁嶋副市長挨拶）
2. あいさつ（各委員の自己紹介）
3. 正副委員長の選出（委員長：瀬口氏、副委員長：土川氏）
4. 議事

（1） 中心市街地活性化基本計画策定の概要

- 事務局から「【資料1】一宮市中心市街地活性化基本計画の策定について」の説明
- 議事概要

委員長：中心市街地活性化法を含むまちづくり三法が改正されたが、その説明をしていただいた。この点で何か質問があれば。

副委員長：活性化の意味がこれまでは商業の活性化という見方だったが、活性化の意味についてコンセンサスがない。ボタンの掛け違いがおきないようにしないと。

委員：中心市街地の設定の場所を明確にしておかないと議論が進みにくい。

委員：過去に2種類あり、次回以降これまでの議論を示して議論をしたい。

委員：特別委員会との整合性を含めエリアをどうするか考えていかないと議論が難しい。

委員：今日は、事務局の説明から知識を得て議論を深めていきたい。もちろん整合性を図って議論していただければと思う。

委員長：住民や経営者に参画いただいて計画をつくっていくというのが最近の活性化の流れで、行政と住民、経営者が連携して参画しないと活性化は上手くいかない。

委員：駅ビルの開発だけでなく、周辺への配慮をお願いしたい。

委員長：駅ビルだけが栄える活性化計画をつくる気はない。駅ビル事業の話が出たので次の議題の基本計画に盛り込むべき事業について事務局からの説明後に議論いただきたい。

（2） 基本計画に盛り込むべき事業について

- 事務局から「【資料2】基本計画に盛り込むべき事業について」及び「【資料3】他市（認定済み）の事例」の説明、基本計画事業抽出シートの回答依頼
- 議事概要

委員長：実現できるものを最終的にいれて5事業について記載をする説明があった。基本計画の認定をとるために必要なものであって、中心市街地を活性化することを念頭に実現できることを考えていく。ここになくても重要だと思うことは挙げていく必要があるかもしれない。資料4の説明後にあわせて議論いただきたい。

（3） 旧基本計画から引き継ぐべき事業について

- 事務局から「【資料4】旧基本計画から引き継ぐべき事業について」の説明

○ 議事概要

委員長:引き継ぐべき事業について協議すると思うが、ご意見いただけないか。

委員:新基本計画は5年間のなかで出来るものを書くが、その計画期間に実施・開始が出来るものがあればご意見をいただきたい。

委員:地権者の意向が大きな問題。考え方は聴取しているか。

委員:非公式に地権者に集まっていただいて、土地の利用の話をついた。公式にはまちの活性化のために貸して下さるとおっしゃるが、具体的な話になると。

委員:賃貸の問題ではなく、駅前の再開発。法人でたちあげて国の補助がもらえるのなら、その説明はしているか。

委員:まだ、そこまではしていない。

委員:再開発するならば地権者の利も考えなければいけない。

委員:個別案件としてあがってきた段階で、必要に応じてこの委員会に関係者を招いて参加していただきたいと考えている。

委員:中心市街地で商売をやっている方やいろいろやっている当事者の方の意見聴取が大事なことはないか。

委員長:全体の計画をつくることと個別プロセスをどうするかは別。再開発事業を進めるなら関係者で進めたらいい。それを中心市街地全体の方向性のなかで考える場が必要となる。

委員:本町通もそれぞれ長がいるので、参加していただいて。本音はどこにあるのか。

委員:商店街の理事長がどうしたことがいいかを言うと空き店舗をうめることになる。地権者との話し合いが出来ていない。大きなことをやるには商店街の器では出来ない。まだ空き店舗であればよいが更地になっては商店街の力ではなんともならない。

委員:空き地にして商店街が寂れた状態になれば、私の土地の評価自体が下がる。それを止めたいので一生懸命店をやっている。事業の具体的な案があって地権者に示されれば判断しやすい。

委員:地権者の考えをおっしゃっていただいたが、そういうものを参考にしていただきたい。当事者の気持ちを把握しないと、計画も案も立てられないのではないか。

委員長:今まで計画をつくってきて、その過程で常に商業者の方の意見はずっと入っているし、地元の人を無視してやっているわけじゃない。今までやってきた積み重ねが1つ重要。代表者がいるので、議論して事業の成熟度が上がれば計画にいれる。ただ、何かやってくださいという形で商店街の方が来るのはやっぱり違う。地元の意見を吸い上げる方法を検討していただけたらどうか。

委員:商店街の力では出来ないくらいの大きなテーマを誰がやるのか。誰が導いてくれるのか。商店街の皆さんが商売をほかってでもやらないかんという情熱を持ってやれる人は少ない。プロジェクトを出来る人たちがきちんと動いていただけることを望んでいる。

委員長:両方が必要で、理事長が知らんでは話が動かなくなるし、理事長がやってくれるかというところとやらないところがある。行政任せには出来ないの、民間が中心市街地の活性化をマネジメントする発想でまちづくり会社や活性化協議会が活性化を常に考えていく状況をどう作り上げていくか。

委員：他の地域から中心市街地に何を目的にどんな魅力があって来てもらえるかが重要ではなかろうか。切り口はたくさん出てくる。

委員長：魅力がなければ街に来ない。

委員：中心市街地の魅力は少しずつ増えてきているし、少しずつ変わろうという努力はしている。趣味を活かして市民が集える場を商店街に創っており、民間の力を借りたコミュニティづくりを中心市街地活性化に盛り込んでいただきたい。

委員：地道な努力が増えることで良くなっていくと思う。一方で、市民が中心市街地にどういう期待をしているか。12年のアンケートで調べてあると思うが、時代も変わっている。事務局はどうみているか。

事務局：各界の代表者にお集まりいただいているので、議論いただいたうえで中心市街地を活性化すべく計画していきたい。

委員長：来街者の意向について今までの調査資料があれば出していただくと、世の中が変わっており、若い人や女性、お年寄りの感覚の情報も得たい。

委員：中心市街地に足が向かず、親しみが湧かなかった。魅力を感じていなかった。

委員：この委員会に提案を出していただくと地権者の方とも話はしやすい。ニッチを広げる意味でコミュニティは地域のものでないと出来ないという着眼点で一生懸命努力されている。商店街ができることの提案があれば商店街も楽になるのではないかな。一般市民からいうと商店街に線引きはなく、縦割りを横に広げるためにも、市民のアンケートをいれていただくと意見が聴けるのではないかな。

委員長：お客を寄せる発想はそんなに変わらない。全体をどうコーディネートするかを練りあげていくと個人でやっているのとは違う展開が期待できる。旧計画から引き継ぐべき事業をベースに検討してよろしいでしょうか。事業の方向性があるとデータの整備もしやすい。中心市街地の中心商業空間の活性化と駅ビルを含めた周辺、バリアフリーの3つを入れておいてよろしいでしょうか。(了承)

委員：駅ビルが大きな話題になっているが、基本的にJRが一宮の考えや意向について全面的にのってくるかどうかの確認は全部されているのか。

委員：市が乗り出した時に、JRから駅ビルの案を考えてくださいというかたちになって、18年度は案を一本化した。事務的な話はしているが、両者が首を揃えて検討を始めるところまではいっていない。

委員長：そこが上手くいかないと計画に載らないので鋭意検討を進めていただきたい。まずこの3つをあげていただいて、この3つだけでなく、もっと具体化したものがあれば、5年以内に開始できる熟度の高い事業をどんどん計画のなかに入れて実効性の高いものにしていけば中心市街地の活性化に資するということ。もっと新しいものもあってもいいんじゃないかということで、意見をいただけたらどうか。

委員：基本的に同じ概念を共有していない可能性がある中で、活性化とはどういうものか、市街地はどこを市街地と考えるかという基本的な話を次回したい。

委員長：次回の予定は9月で、基礎調査結果の報告、計画の方向性の検討の中身を付け加えていただいたので、範囲、方向、活性化の意味を含めて考えながら進めていくことになる。

(4) 今後のスケジュールの概要について

- 事務局から次回開催日(9月27日午後)の提案、「[資料5]今後のスケジュール概要について」の説明
- 議事概要

委員長:これからのスケジュールを説明いただいたが、今日が第1回、第2回は9月の下旬で決めていただいた。3回目は計画策定の段階の予定で11月の中下旬。4回目が12月下旬か1月上旬。5回目が2月上旬のスケジュールで中身について案としてパブリックコメントは市民に聞く。商業者に聞くこともどこかで入れたほうがいい。方法も含めて検討いただければ、より皆さんに認知された計画になるのではないかと。

事務局:つけ加えて経済産業省の施策で中心市街地活性化の取り組みに対する診断・助言事業があり、近日中に事業に取り入れていただける方向性が出てきた。例えば活性化に関する市民意識の醸成や法定の活性化協議会をどうつくっていくかを、この委員会を補完するかたちで実施をしていけたらと考えている。

委員長:本日の予定はこれで終わりです。アイデアがあれば事務局に届けていただいて、少しでも実行できたらいいと思うので、よろしくお願いいたします。